

審議会（第1回）資料

資料2は条例パンフレット、資料5及び資料6はアンケート結果

札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等審議会

- 委 員 名 簿 -

おぎさ 小篠	たかお 隆生	北海道大学大学院 准教授
くまがい 熊谷	いちろう 一郎	北海道防犯団体連合会 専務理事
こいずみ 小泉	あきのぶ 詔信	札幌市商店街振興組合連合会 副理事長
すぎおか 杉岡	なおと 直人	北星学園大学 教授
ぜんようじ 善養寺	けいこ 圭子	北海道家庭生活総合カウンセリングセンター 副理事長
たかすぎ 高杉	みねよ 峯代	札幌消費者協会 理事
たぶち 田淵	りえ 里衣	公募
ちば 千葉	たかし 卓	北海学園大学 教授
なかむら 中村	よしこ 佳子	公募
まつい 松井	あつとし 敦利	公募
まつざか 松坂	きみこ 君子	山口団地連合自治会 顧問
もりた 森田	けいぞう 圭三	札幌市PTA協議会 副会長
もりの 森野	すみこ 寿美子	札幌市青少年育成委員会 東区北光地区代表幹事

(五十音順・敬称略)

「犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」 第7条に基づく基本計画の考え方

1 計画の基本構成案

計画策定の趣旨

犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例制定の背景や経緯を説明するとともに、計画策定の目的や全体像を掲げる。

現状と課題

札幌市内の犯罪情勢や地域防犯活動状況のほか、地域防犯に対する市民意識を調査し、課題を整理する。

基本方針

安全に安心して暮らせるまちの実現に向けた目標を掲げ、それを達成するための施策の方向性を定める。

具体的な施策

各部局が進める具体的な施策を目的や基本方針ごとに体系的に整理する。

計画の推進

計画を効果的に推進していくための連携体制を整理する。

2 策定スケジュール

	基本計画策定に向けた動き
平成 21 年 6 月	第 1 回 審議会 ・ 条例及び基本計画の概要説明 ・ 犯罪情勢及び市民アンケート結果報告 ・ 現状及び課題についての審議
7 月	第 2 回 審議会 ・ 計画における基本方針についての審議
8 月	第 3 回 審議会 ・ 計画における具体的な施策についての審議
10 月	第 4 回 審議会 ・ 答申書についてのとりまとめ 審議会から札幌市へ答申
11 月	計画素案の作成
12 月	計画素案に対するパブリックコメント（約 1 ヶ月間）
平成 22 年 3 月	基本計画の完成

札幌市内における犯罪情勢

1 犯罪の定義

罪刑法定主義の原理により、予め法律により定められている構成要件に該当して、違法かつ有責な行為。

構成要件

何が犯罪であるか法律上特定された行為の類型。

違法性

正当防衛や緊急避難等の法益の侵害に該当しないこと。

有責性

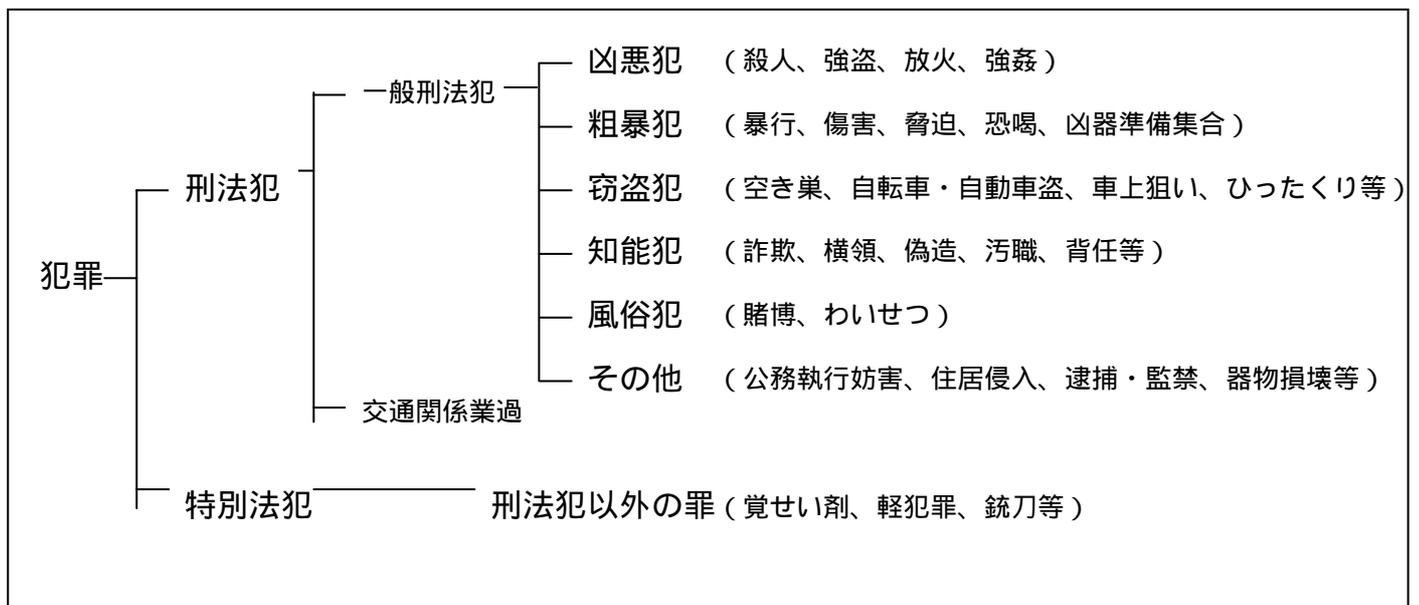
ある行為を、非難することができる可能性(行為者の善悪の判断能力)があること。

2 統計上の分類

犯罪は、刑法に規定された「**刑法犯**」(道路上の交通事故における業務上過失致死傷罪及び重過失致死傷罪を除いたものを「**一般刑法犯**」としている。)と、それ以外の法律に規定された「**特別法犯**」に分類されます。

また、「**一般刑法犯**」は、下図のとおり包括的に6罪種に分類されます。

図-1



3 札幌市の犯罪情勢

一般刑法犯認知件数の推移

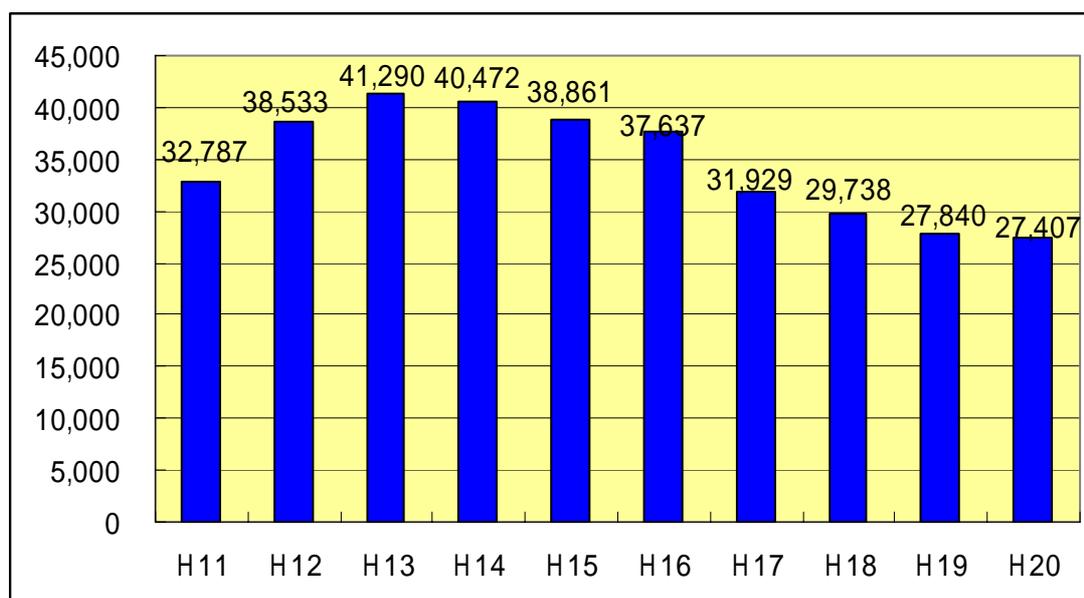
札幌市は平成 13 年に認知件数のピークを迎え、その後は減少傾向にあり、平成 18 年には市内の認知件数が 29,738 件と 3 万件を下回りましたが、いまだ 1 日あたり約 75 件もの犯罪が発生しています。

表-1

(単位:件)

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
認知件数	32,787	38,533	41,290	40,472	38,861	37,637	31,929	29,738	27,840	27,407

図-2



罪種別の割合

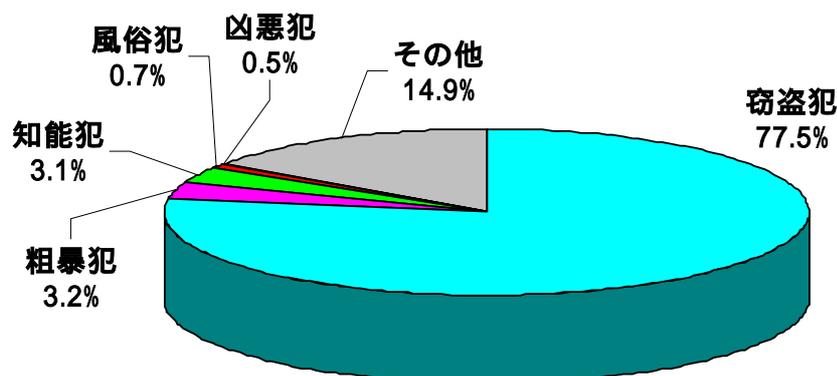
窃盗犯が全体の約 3 / 4 を占め、他の罪種よりも圧倒的に多い状況にあります。

表-2

(単位:件)

	窃盗犯	粗暴犯	知能犯	風俗犯	凶悪犯	その他
平成 20 年	21,253	889	847	199	133	4,086

図-3



主な罪種別犯罪の認知件数の推移

一般刑法犯認知件数の減少傾向は、以下の罪種別犯罪の認知件数の推移に示すとおり、「窃盗犯」の減少が大きく影響しています。

なお、窃盗犯に占める割合としては、自転車盗、車上ねらい、侵入盗が高く、特に自転車盗は平成 17 年以降増加傾向にあります。

表- 3

(単位：件)

		H16 年	H17 年	H18 年	H19 年	H20 年
合 計		37,637	31,929	29,738	27,840	27,407
窃盗犯	件数	28,622	23,705	21,715	20,453	21,253
	割合	76.0%	74.2%	73.0%	73.5%	77.5%
粗暴犯	件数	919	1,050	1,009	946	889
	割合	2.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.2%
知能犯	件数	915	1,017	977	774	847
	割合	2.4%	3.2%	3.3%	2.8%	3.1%
風俗犯	件数	194	239	215	178	199
	割合	0.5%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%
凶悪犯	件数	181	188	183	155	133
	割合	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%	0.5%
その他	件数	6,806	5,730	5,639	5,334	4,086
	割合	18.1%	17.9%	19.0%	19.2%	14.9%

表- 4

(単位：件)

罪種名	H16 年	H17 年	H18 年	H19 年	H20 年
自転車盗	6,276	5,436	5,526	5,532	6,734
車上ねらい	5,700	4,076	4,166	2,774	3,062
侵入盗	3,827	3,429	2,922	2,485	2,202
部品ねらい	3,282	2,529	1,103	882	655
オートバイ盗	628	516	570	345	384
自動車盗	775	536	383	329	376
自動販売機ねらい	837	506	646	551	536
傷害	459	517	475	421	340
暴行	286	336	372	415	448
強制わいせつ	161	187	166	124	120

子どもに係る事件実態

平成 19 年度中に札幌市内で小・中学生を狙った事件は 823 件発生しており、被害を受けた子どもの人数は 1,175 人で、ともに減少傾向にあるものの、年間 1,000 件近く発生しています。

事件内容の内訳としては、声かけ行為が最も多く、次いで露出行為、つきまとい行為となっており、これらの行為で全体の 6 割以上を占めています。

図- 4

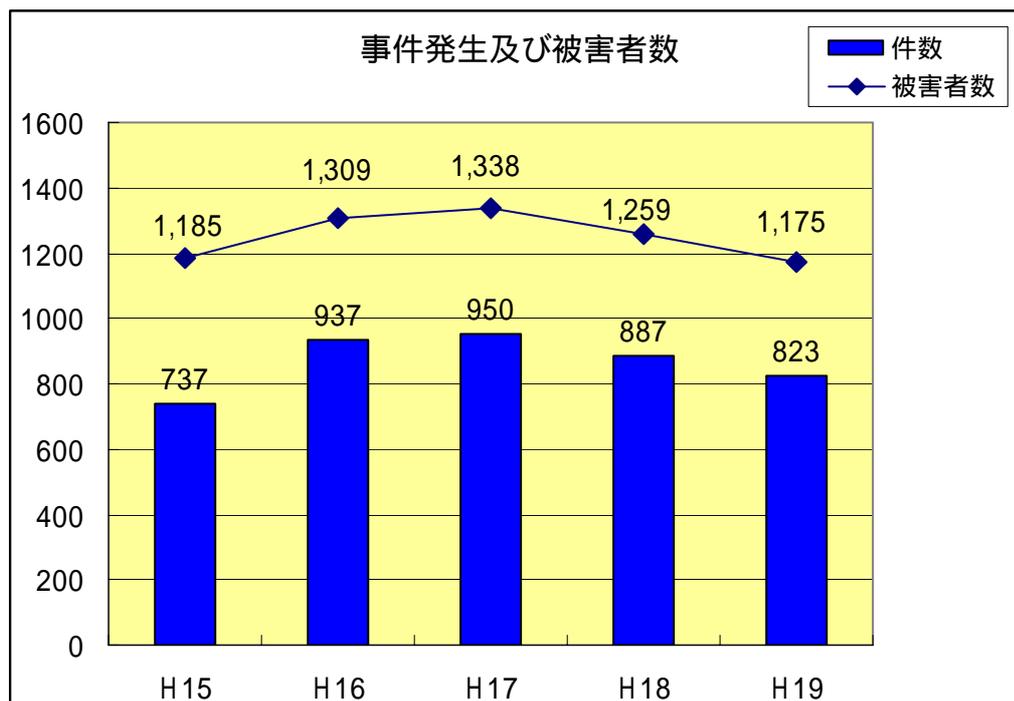


表- 5

(単位：件)

	小学校(人)				中学校(人)				合計(人)			
	男子	女子	不明	合計	男子	女子	不明	合計	男子	女子	不明	合計
声かけ	71	136	6	213	3	60	12	75	74	196	18	288
露出	11	124	7	142	0	110	18	128	11	234	25	270
つきまとい	34	87	5	126	0	64	5	69	34	151	10	195
不審電話	54	56	27	137	0	0	0	0	54	56	27	137
盗撮	15	50	0	65	0	8	3	11	15	58	3	76
痴漢	4	27	0	31	0	39	3	42	4	66	3	73
暴力	4	12	1	17	4	10	0	14	8	22	1	31
その他	30	26	14	70	8	17	10	35	38	43	24	105
合計	223	518	60	801	15	308	51	374	238	826	111	1,175

振り込み詐欺

平成 20 年中の札幌市内において発生した振り込み詐欺は 211 件で、被害総額は 268,572,260 円となっており、手口形態としては、「オレオレ詐欺」が最も多く全体の 4 割以上を占めています。

特に高齢者の被害が目立っており、「オレオレ詐欺」や「還付金等詐欺」の半数は 65 歳以上であり、「架空請求詐欺」や「融資保証金詐欺」についても、被害数は少ないものの、1 件あたりの被害額は、全体平均を大幅に上回っています。

表- 6

手口形態		件数 (件)	割合	被害額 (円)	割合	1 件あたりの 平均被害額
オレオレ詐欺	全体	92		160,336,816		約 174 万円
	65 歳以上	46	50%	93,481,590	60%	約 203 万円
架空請求詐欺	全体	25		18,178,450		約 66 万円
	65 歳以上	3	12%	4,035,000	31%	約 135 万円
融資保証金詐欺	全体	50		54,064,005		約 108 万円
	65 歳以上	5	10%	7,551,029	15%	約 151 万円
還付金等詐欺	全体	44		35,992,995		約 83 万円
	65 歳以上	23	52%	21,233,389	59%	約 92 万円
合計	全体	211		268,572,260		約 129 万円
	65 歳以上	77	36%	126,301,008	49%	約 164 万円

【オレオレ詐欺】

電話を利用して親族、警察官、弁護士などを装い、交通事故示談金などを名目に、現金を預金口座などに振り込ませるなどの方法でだまし取る詐欺事件。

【架空請求詐欺】

郵便、インターネットなどを利用して不特定多数の人に対し、架空の事実を口実とした料金を請求する文書などを送付するなどして、現金を預金口座などに振り込ませるなどの方法でだまし取る詐欺事件。

【融資保証金詐欺】

実際には融資しないにもかかわらず、融資する旨の文書などを送付するなどして、融資を申し込んできた人に対し、保証金などを名目に現金を預金口座などに振り込ませるなどの方法でだまし取る詐欺事件。

【還付金等詐欺】

税務署や社会保険事務所などを語り、税金などの還付などに必要な手続きを装って ATM (現金自動預払機) に誘導・操作させ、口座間送金により現金をだまし取る詐欺事件。